

草津市子ども・若者計画の基本理念の検討

前回会議（第4回子ども・子育て会議）の提示内容と意見

■提示した内容

子ども・若者は社会の希望であり、未来をつくる、かけがえのない存在です。

本市では、子ども・若者が、多様な人々との関わりや支え、様々な経験を通して健やかに成長し、未来を切り開く力を身に付け、夢や希望をもち、自分らしく生き生きといきるまちを目指して、「子ども・若者が夢と希望をもち、自分らしくいきるまち 草津」を基本理念に掲げます。

子ども・若者が夢と希望をもち、自分らしくいきるまち 草津

■意見

- ・「生き活き」は常用漢字として一般的に使わない表現。「生きる」をゆるやかな生き方とするのも独自の解釈となるし、「活きる」は公文書として使わない。
- ・「生き・活き」と「・」を打っては、括弧やふりがなを入れる方もある。
- ・「夢」を教育の視点でどのように教えていくのか。
- ・身近な表現として、「目標」という言葉をよく使う。「夢」だと遠い先の話をイメージ。
- ・夢は特別なないというが、毎日楽しく生きている人もいる。夢や希望がなかったらどうしたらいいのかという思いもある。
- ・「夢と希望」と両立する形ではなく、「夢や希望」でもいいのでは。
- ・「夢」や「希望」という言葉が全く出てこないのはさみしい気持ち。使わなくなることによる影響があるのでは。
- ・「夢や希望」をもって悪いものではないし、人それぞれである。現実的な「夢」も、理想的な「夢」もあってよいのでは。
- ・「夢や希望」をもっていない人も多いと聞いて少し残念な気持ち。
- ・「夢や希望」を子ども自身が持つことも大切だが、周囲の大人が与える、みんなが支える視点も大切。また、施策が基本理念をかなえる内容になっているかが重要。
- ・「子ども・若者が自分らしくいき、夢や希望を持てるまち 草津」でどうか。今の語順では、「夢や希望」がないと自分らしく生きられない、という風に見える。
- ・「子ども・若者が自分らしくいきるまち 草津」とシンプルにし、「夢や希望」の思いも盛り込んで。子ども・若者を支えるのがこの計画だが、全てを盛り込むと焦点がぼやける。